

山本家住宅茅葺き屋根の全面葺き替え

山本家住宅は、1993年の茅葺き屋根全面葺き替えから約30年が経過し、屋根平茅全面に経年による腐朽や消耗が見られ、茅を支えている竹下地も全体的に緩みが生じていました。そこで、2021年12月から、茅葺き屋根全面葺き替えと、竹下地の一部取り替え、そして割れてしまっていた梁の取り替え工事を行ないました。



山本家住宅とは…

鹿島灘に近い神之池畔にあり、網元をしていた漁家で、名主を務めたこともある旧家です。茅葺き屋根の「寄棟造り」で、南正面の東寄りが大きく突き出た「曲屋形式」、正面と西側は屋根が軒下に張り出した「せがい造り」といった建築手法が特徴です。その手法から18世紀前半に建築されたと考えられています。漁家で国の重要文化財に指定されているのは、山本家を含めて全国で4軒しかなく、江戸時代の漁家の暮らしを現代に伝える重要な文化財です。



苔が生えて全体的に下がってきている北側屋根



劣化が進んだ東側屋根

ヒビ割れが目立つかまど



割れてしまった梁



あわわ...、これは放っておけないね



工事の様子



下から解体されていきます



新しくなった梁



茅が葺かれていきます



上へ順番に葺かれていきます

耐震工事・かまど

今回の工事では、耐震診断も同時に実施しました。耐震診断の結果、耐震補強が必要であることが分かり、当初予定していた工事期間を延長し、茅の葺き替え工事の後に耐震補強工事を行ないました。工事では、山本家住宅の文化財価値や景観を損なわないよう現状を生かしながら、木材や鉄製の支柱を使用し、一部補強を行ないました。

また、ニワバ(土間)にあった「かまど」についても、経年による劣化(ヒビ割れ)が目立ったため、全解体して、元のかまどを再現するかたちで作り直しました。



一番上に瓦をのせて…



豆知識 茅とは、屋根を葺く草の総称。すすきやヨシ、シマガヤなどのイネ科の多年草のこと。

すごい！すっかりきれいになったね！



令和5年5月より

月1回

山本家開放デー

を実施します

月1回の「開放デー」は、山本家住宅の内部を見学することができます。

期間＝令和5年5月～令和6年3月 場所＝神栖市奥野谷4281

日程＝原則毎月第1土曜日

※9月、令和6年1月、2月は第2土曜日

時間＝午前10時～午後4時

第1回目は
5月6日(土)!!!

「開放デー」以外の日に内部を見学希望の場合は、事前に予約が必要です。神栖市教育委員会文化スポーツ課(☎0299-77-7495)へ必要事項(①見学希望日・時間 ②人数)を連絡してください。